

かえる倶楽部タイムズ

特集 「 消化器癌の術前化学療法 」

消化器外科では胃癌・大腸癌に代表される消化器癌の治療に重点を置いています。癌手術は腹腔鏡やロボット支援手術の発達が目撃され当院でも腹腔鏡による消化器癌手術を積極的に行っていますが、再発をなくし予後を改善することが癌手術の重要な目的です。

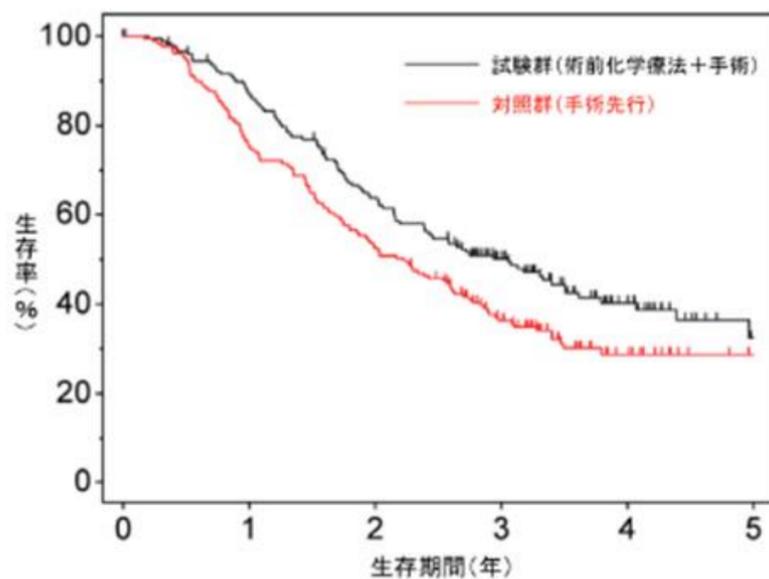
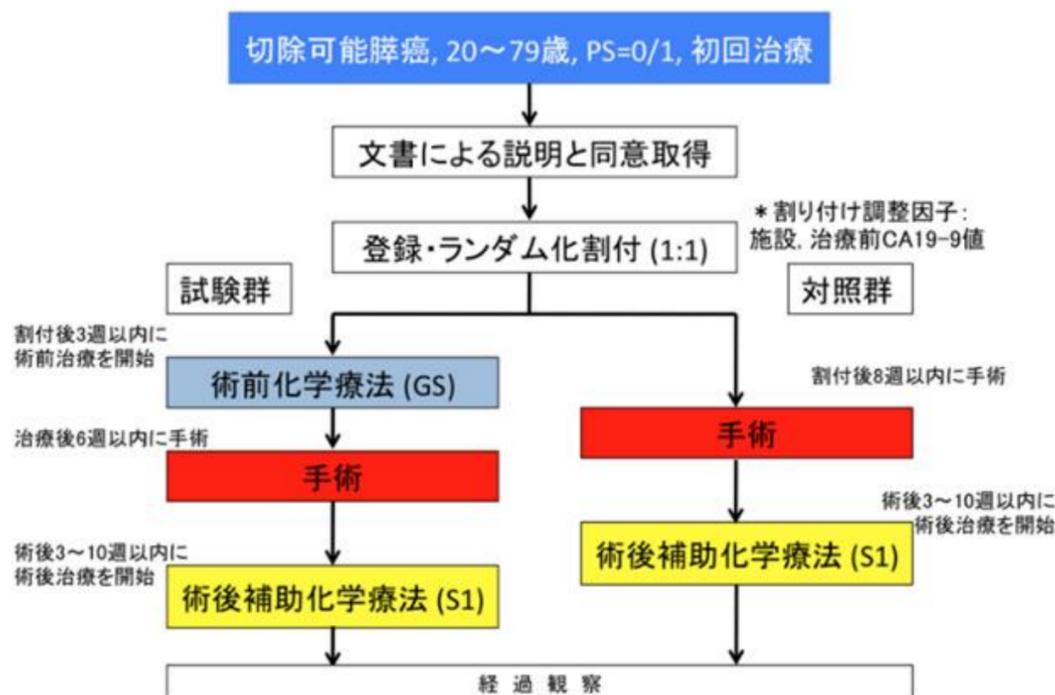
根治的に切除できた消化器癌であっても切除標本による病期や再発リスク評価に基づいて、術後のがん再発や転移の危険性を減らすことを目的に、術後補助化学療法(Adjuvant Chemotherapy)が推奨されています。

一方で、**術前補助療法**は切除可能な消化器癌に対して**抗がん薬や放射線を用いて病巣を縮小させたり微細な転移をなくす**ことで**手術根治度を上げる**目的で**術前に行う治療法**であり、食道癌では以前より積極的に行われてきました。

抗がん薬を用いた術前補助療法は**NAC(Neo Adjuvant Chemotherapy)**と言われ、切除可能ではあるが高度なリンパ節転移を伴う胃癌に対してNACを行うことで**膵臓の合併切除を回避**したり、**生存率や治癒切除率が上がる**などの報告がされています。

膵臓癌においても新たな抗がん薬が承認されたことを契機に切除可能境界(BR)膵癌や高CA19-9患者さんに対してNACが行われるようになってきました。本邦より**PSの良好な切除可能(R)膵癌患者に対してゲムシタビンとS1の術前併用療法(GS療法)を行うことで有意に生存期間が延長**することが示され(ASCO GI 2019)、当院でも積極的に取り入れています。

「切除可能膵臓癌の術前化学療法の有効性・安全性に関する臨床試験」のデザインと結果



2019年 東北大学Press Releaseより

当科では患者さんにより良い医療を提供するために腫瘍内科、消化器内科、放射線科、病理診断科、麻酔科とともに新しい集学的な癌の治療に積極的に取り組んでいます。

良性疾患に対する緊急手術も積極的に受け入れています。夜間でも当番医による対応を行っています。お気軽にご紹介・ご相談ください。

【地域医療連携室】

平日 8:30~19:00、土曜日 8:30~12:00
 TEL 06-7501-1406 FAX 06-6458-0347

関西電力病院
 消化器外科
 部長 河本 泉

京都大学医学博士
 日本外科学会 専門医/指導医
 日本消化器外科学会 専門医/指導医
 日本膵臓学会 認定指導医
 日本神経内分泌腫瘍研究会 理事
 日本病態栄養学会 評議員/病態栄養指導医

